



令和5年11月10日
統合幕僚監部

(お知らせ)

米統合参謀本部議長の訪問について

吉田統幕長は、令和5年11月10日（金）、統合幕僚監部において、訪日中のブラウン米統合参謀本部議長と会談及び意見交換を行いました。なお、ブラウン統参議長は就任後初の2国間対話のための外国訪問として、日本を訪問しました。

会談では、国際社会が急速に変化し、グローバルなパワーの重心がインド太平洋地域に移っている中、日米同盟がかつてないほど強固であり、我が国の安全保障の基軸であるとの認識を改めて確認しました。

また、両者は、常設の統合司令部の設置に係る日米間の連携要領の在り方や、反撃能力の効果的な運用等、日米の抑止力・対処力をより一層強化するための具体的な取り組みについて意見を交換し、あらゆる分野において日米防衛協力をより一層拡大・深化させていく必要性について認識を新たにしました。その中で、わが国が進める防衛力の抜本的強化は、より効果的な米国の能力の発揮に繋がり、日米共同の統合的な抑止力・対処力を一層強化するとの意見で一致しました。

さらに、日米同盟を基軸とした、同志国等との多国間の防衛協力・交流を一層推進・強化し、望ましい安全保障環境を創出することが、我が国及び国際社会の平和と安定を確保するために不可欠であるとの認識を共有しました。

